

日出町立豊岡小学校

学力向上プランの概要

I. 学力・学習状況の評価方法

- ① 児童の状況・課題について・・・町、県、国の学力テストの分析、単元末テストの分析、授業・家庭学習の見取り
- ② 指導状況・課題について・・・学校評価の4点セット取組チェック（毎月）から分析
授業改善の5点セット取組チェック（年3回）から分析
- ③ 目指す児童像について・・・学校評価の4点セットの達成指標と連動させ評価

II. 児童の学力状況

- ① 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題
〔国語〕登場人物の気持ちの読み取りが苦手
〔算数〕計算の正確性、作図力、グラフの読み取りの力が弱い
〔理科〕知識を生かした、事象の説明力が弱い
- ② 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況
・「自分の考えを表現できた（だいたいできた）」とアンケートで答えた児童は76%で、検証指標85%に達していない。このことは、児童の課題である「読み取る力」「説明する力」と大きく関わる。

III. 児童の学習状況（各種学力調査の分析結果から明らかになった課題）

- ・豊岡小学習スタンダード（時間を守る、準備をしっかりと、授業の始まりと終わりのあいさつをしっかりと、姿勢をしっかりと、話し手・聞き手を意識した対話）の定着
- ・一人一人に適した家庭学習の時間や内容の検討
- ・豊かな読書や、新聞を読む力の定着

IV. 指導の状況

- ① 組織的な授業改善の取組状況
 - ・課題を一人またはグループで取り組む場の設定は、ほぼ全クラスできている。
 - ・自分の考えを言えるようになってきたが、伝え合い、考えを深めるところまでには至っていない。
 - ・児童の困りや疑問から課題を設定する方向は意思統一できているが、まだ教師主導型が多くみられる。
- ② その他の学力向上に向けた指導の取組状況
 - ・SA（スクールアシスタント）の活用は、定着している
 - ・算数科における習熟度別授業、少人数授業が定着している。
 - ・算数科における考える場や話す場の設定は、ほぼ毎時間できている。
 - ・板書の構造化とノート指導を連動している。
 - ・音読、新聞活用、図書館の活用授業については、さらに力を入れていく必要がある。

具体的な取組事例

1. SAによる学習支援の取組

(1) 外部の方に入っただく授業を取り入れています。

- ・学期に1度以上、外部の方に授業に入っただくことで、郷土や地域を愛する心や感謝する心を育てています。



朝顔のリース作り (生活科)



茶道体験 (道徳科)



総合的な学習の時間 (田植え体験)

(2) SA (スクールアシスタント) の方に授業等に入って支援していただいています。

- ・定着学習や補充学習に取り組んでいます。
- ・各学年、月に2度以上、SAさんに授業に入っただくします。

☆算数授業補助

- 1年：計算カードの聞き取りと認め
- 2年：毎週火・木 授業中の個別指導
- 3年：毎週月・木 授業中の個別指導

☆家庭科実習補助 (5・6年)

- ☆水泳授業の見守り (全学年)
- ☆各種集会での音楽指導 (4～6年)
- ☆県立図書館蔵書借り入れ
- ☆生活・社会科見学等の安全見守り (2・3年)

(昨年度の活動実績：活動数374、活動人数延べ1111人)



(算数科授業)



(家庭科授業)



(ドリル学習)

2. 3年生以上の算数科における少人数・習熟度別少人数指導の取組

(1) 3・4年生は、少人数指導、5・6年生は習熟度別少人数指導を行っています。



(3年生少人数指導の様子)



(習熟度別少人数指導の様子)

3. 読書習慣定着の取組（ノーメディアデー、家読）、図書館活用授業の取組

- (1) 読書タイムを設定しています。(月・水・金の朝の時間)
- (2) 図書館活用授業を実施しています。(学期に1度以上)
- (3) 児童集会や学級活動等で、教師がお薦めの本を紹介する。
- (4) 毎月15日は家読の日として家庭での読書をPTA活動として取り組んでいます。
- (5) 県立図書館の本を、教室に常時50冊配置しています。
- (6) 毎月2回読み聞かせボランティア「トロロの会」の皆さんに読み聞かせをして頂いています。



(教師のおすすめの本の紹介)



(読み聞かせの様子)



(SAによる県図書館の本の搬入)

4. 自分の考えを書いたり話したりする授業づくりの取組

- (1) 考えを書いたり話したりする場を設定した授業をしています。(授業改善の5点セット)
 - ・算数では、毎時間考えたり、交流したりする場を設定しています。
- (2) 授業の始め終わりのあいさつをきちんとする取組をしています。(豊小学習SD)



(自分の考えを作っている様子)(グループで考えを作っている様子)(クラスに考えを広げている様子)

- (3) 板書の構造化の充実とノート指導を連動しています。

- ・年5回のノート検定を行っています。

〈ねらい〉

- 「書くこと」を苦しめない子にする。
- 「国語」の一つである「書く力」を育てる。
- 「集中力」「思考力」「正確性」を養う。

〈実施方法〉

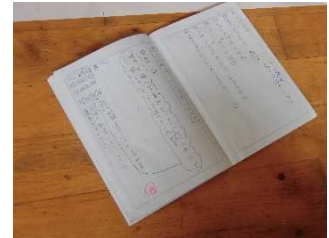
- 全校集会後、集会隊形のまま行う(○月○日を開いて待つように伝える。無言の徹底)
- 合格した子どもには、Aをつける。検定した先生のサインを入れる。



ノート検定の様子



ノートを見せ合う子どもたち



検定後のノート

5. 音読で読む力の定着を図る取組

(1) 音読の時間を確保し、読む力を育成しています。

- ・各教科で1日1度は音読を取り入れ、読む力を育てています。

(2) 新聞を週1回以上読む取組（高学年）

- ・5, 6年生は、週に1度以上（毎週金曜日）、子ども新聞を読む。
- ・朝学習や家庭学習で、「読売ワークシート通信」を扱う。



(高学年の新聞を読む様子)



(読売ワークシート通信)

6. 家庭学習の取組

(1) 年度当初、保護者に家庭学習の取組についてのプリントを配布し、協力を依頼しています。

(2) 学年主任会で、各学年の家庭学習の内容を出し合い、質・量のバランスを話し合い決めています。

下記のように、〈毎日のメニュー〉と〈週末のメニュー〉の質・量を検討しています。

① 4年生の家庭学習内容

- 毎日取り組むもの（月～木）・・・漢字1ページ、計算ドリルか算数プリント、音読
- 曜日を決めて取り組むもの・・・週末：自主学习ノート（1ページ以上）

② 5年生の家庭学習の内容

- 毎日取り組むもの・・・漢字1ページ（150字）、音読、計算ドリル（1ページ）
国語か算数プリント（A4用紙 1枚程度）
- 曜日を決めて取り組むもの・・・土曜：自学（1ページ以上）

③ 6年生の家庭学習の内容

- 毎日取り組むもの・・・漢字ドリル（150字1ページ）、三行日記、計算ドリル（1～2ページ）
音読（2～4ページ）、自主学习ノート（1ページ）
- 曜日を決めて取り組むもの・・・週末：12行日記